



## 新年 明けまして おめでとうございます



昨年は、コロナの5類移行後、北海道でも観光客が増加し札幌駅周辺では大きなスーツケースを押している人々の光景も当たり前になりました。この調子で今後景気が上向いて行くことを期待したいところです。

また、世界のあちこちで戦争・紛争が続いておりますが、1日でも早く平和な日常が戻ってくることを切に願わずにはられません。

さて、消費税のインボイス制度への対応が落ち着くまではまだ時間がかかりそうですし、今年から始まった電子取引データの保存の義務化への対応など、事務量とコストの増加は免れない状況です。

池戸経営会計グループは、インボイスや電子取引対応をはじめ、各種課題や問題点の解決に尽力し、関与先様に寄り添い、繁栄発展のお役に立てるよう社員一同精一杯努力していく所存でございますので引き続き本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が関与先様にとって、努力してきたことが実るよい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。



蜂矢 茂則



## 新年あけましておめでとうございます。



昨年は猛暑が続くとともに著名人の多くの訃報に接する一年でした。

また、政治の世界では、相変わらず小手先の税制改正による景気浮揚策に捉われる有様で、国民の政治に対する不信感に拍車をかけている状況です。

昨年10月よりインボイス制度が開始されましたが、現場では当面混乱が続くものと思われま。

さて、現在の日本の企業数のうち中小企業の占める割合は99%以上であり、さらには国内の雇用の70%を担っているとも言われています。

中小企業の抱える問題としては、生産性の向上、コスト高による価格の転嫁、後継者の問題などが挙げられます。

特に経営者の高齢化に伴う後継者不在の問題は、深刻な状況となっており、何もしなければ加速度的に廃業が続くものと思われま。

社員・取引先を守るという観点からも今後はM&Aという手法が重要なツールとなっていくものと思っています。

池戸経営会計グループとしましても役職員一丸となって関与先様の諸課題に対処してまいりたいと思っています。

最後となりましたが、本年が皆様にとって良い年となりますことを祈念しまして新年のご挨拶とさせていただきます。



木村 正彦



## 謹んで新年のご挨拶を申し上げます。



昨年は、コロナの5類移行もあり人の動きが増え、経済活動が活発になり、コスト上昇分の価格転嫁も進み、道内企業の多くが業績を改善したようです。

しかし、本年は、「2024年問題」があります。直接の輸送料だけでなく、さらなる原材料等の価格高騰が想定され、企業利益確保の障壁となりそうです。

一つ明るい話題が「ラビダス効果」です。試算では道内総生産を毎年4千億から8千億円押し上げると推計していますが、果たしてどこまで期待できるか。

このような中、関与先様を親身になってサポートできるよう専門知識を磨くとともに、客観的な視点で経営上の問題にきめ細かく対応させていただき所存でございます。

最後となりましたが、本年が関与先様にとって良い年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。



櫻井 明彦